



☆ 春です！お出かけしましょう！！

電車に乗ってお出かけしてきました。遊びではありませんでしたが、窓の外は春景色！！なんとなくウキウキして気持ちの良い時間を過ごすことができました。次は、どこかへ遊びでお出かけしたくなりました！

さて、今回は春の日差しに似合う、明るくて色鮮やかな絵本を集めてみました。親子でどうぞ！



春の音が聞こえるね！



絵本・モーモーまきぼのおきゃくさま

マリー・ホール・エッツ文・絵 山内清子訳 偕成社

春の牧場で牛が草を食べています。「なんておいしい草なんでしょう。誰かにごちそうしてあげたいわ」そこで、友だちを招待することに。けれども、食事の時になると、イヌ、ネコ、ガチョウ…と帰ってしまい……。

柔らかなピンク色をバックに、伸びやかで表情豊かな絵が優しい絵本です。

絵本・ルラルさんのバイオリン

いとうひろし作 ほるぷ出版

ルラルさんは、一年に一度か二度バイオリンの手入れをすると、すぐにしまっけてしまいます。でも、ねこにみつかって「ひいてみてくださいいな」と頼まれました。ルラルさんはギコギコキーキー ギコギコキー。なんだかおしりがむずむずします。庭には動物たちが集まってきました。

ルラルさんのおとうさんの思い出も一緒に、バイオリンが素敵でゆかいな音楽を奏でます。

絵本・キャベツくん

長新太文・絵 文研出版

ある日、キャベツくんとブタヤマさんは道端で出会いました。おなかですいていたブタヤマさんは、キャベツくんをつかまえて「キャベツ、おまえを食べる！」すると、キャベツくんは「ぼくを食べると、キャベツになるよ！」

野放図な絵とナンセンスなストーリー。繰り返しの楽しい絵本です。



絵本・スモールさんののうじょう

ロイス・レンスキー文・絵 渡辺茂男訳 福音館書店

お百姓のスモールさんは、農場に住んでいます。朝早く起きて、動物たちにえさをやったり、牛乳をしぼったりします。そして、スモールさんは、春夏秋冬それぞれの季節に合わせて働きます。

まるで子どものような丸い優しい顔のスモールさんと農場の様子が、とても明るく楽しい絵本です。

絵本・かぜのこもいうた

くどうなおこ詩 あべ弘士絵 童話屋

元気なゾウのぼうやは「遠くへ行っちゃだめよ」というお母さんの言葉も聞かずに走りまわっていて迷子に。ひとりぼっちで泣いていると風が優しく話しかけてくれます。「母さんはみつかるとよ。明日になればきっとね。」

スケールの大きな詩と、奔放で色鮮やかな絵の絵本です。

★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

5月16日(土)、 6月20日(土)
午後3:00~3:30
水戸市立西部図書館 お話し会のへや



☆ ジメジメ気分にあようなら！

梅雨に入り、毎日はっきりとしない天気が続いています。暑くなったかと思うと寒くなったり、体調をくずしがちですね。

こんな時は、楽しい絵本やきれいな絵本を手にとって、ジメジメ気分を吹き飛ばしましょう！



すてきな気持ち、感じよう！



絵本・ふたりはきょうも

アーノルド・ローベル作 三木卓訳 文化出版局

今日の仕事を「あしたするよ」と言って、全部明日の仕事にしてしまったがまくん。でも、明日のことを考えるとゆううつです。

全部で五つのお話が入っていますが、かえるくんとがまくんのやりとりが面白くて、こんな友だちがいたらうれしいと思わせてくれます。

絵はうす茶とグリーンの色だけですが、とても豊かな感じになれます。

絵本・ねっこぼっこ

ジビュレ・フォン・オルファース作 秦理絵子訳 平凡社

暗い色の冬が終わると、色あざやかな春がやってくる。虫たちも出てくる。それは、大地の中で、ねっこぼっこが目覚めて春のしたくをしているから。

夏には、より色あざやかになる自然。

そして秋になると、またねっこぼっこたちは大地の中へ眠りこむ。

四季のめぐりを、きれいな色彩で感じさせてくれる絵本です。

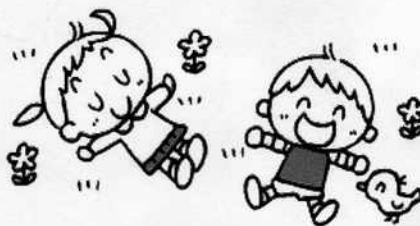
絵本・かえるがみえる

まつおかきょう作 馬場のぼる絵 こぐま社

言葉遊びの楽しい絵本です。

かえるがみえる・あえる・はえる、と続き、返る帰る替える買える…。単なる言葉遊びだけでなく、ちゃんとストーリーになっていくので、安心して読んでいくことができます。

馬場のぼるさんの温かくてユーモラスな絵が言葉のおもしろさをひきたてています。



絵本・だるまさんと

かがくいひろし作 ブロンズ新社

シリーズ3作目のこの本には、くだものたちが登場します。

だ・る・ま・さ・ん・と。いちごさん・ばななさん・めろんさん、が仲良く過ごす様子を、ページをめくるたび、わくわくにこにこしてきます。シンプルな内容とはっきりした絵も魅力です。はじめての絵本にぜひどうぞ！

絵本・ピーターのがみ

エズラ・ジャック・キーツ作 きじまはじめ訳 偕成社

おたんじょうかいにエイミーを呼ぶことにしたピーター。初めて書いた手紙をポストに入れてようと外へ出ると、強い風に手紙をさらわれて、おまけにエイミーに見つかりそうになってしまいます。見られちゃ困る！と一生懸命なピーターは、エイミーを泣かせてしょんぼり・・・。

男の子の気持ちがとても伝わってくる絵本です。



★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

7月18日(土)、
午後3:00~3:30
水戸市立西部図書館

※ 8月はお休みです
お話し会のへや



☆ お出かけ大好き！

今年も夏休みが始まります。梅雨明けした空は太陽がまぶしくて、気分もウキウキしてきます。できればいろんなところに出かけて行って素敵な時間を過ごしたいですね！ 海水浴やプール、キャンプやハイキング、旅行など、考えるだけでも楽しくなってきませんか？
今回は、そんなワクワク気分の夏にぴったりの、楽しい絵本がいっぱいです。親子でたのし



夏はワクワク気分！！

絵本・とんとんとめてくださいな

こいでたん文 こいでやすこ絵 福音館書店

3びきのねずみがハイキングの帰りに、道に迷ってしまいました。泊めてもらおうと入った家には、誰もいません。ところが、そこへうさぎやたぬきが次々に「とんとん とめてください」とやってきました。さて、この家の主は？
やわらかい色調の絵で、あたたかいものが流れてくるような絵本です。背景の絵も、ゆっくり見ているといろいろなことに気づいて楽しめますよ！

絵本・うみべのおとのほん

マーガレット・ワイズ・ブラウン文 レナード・ワイズガード絵 江國香織訳 ほるぷ出版

こいぬのマフィンには、耳がよくてどんな音でも聞き取れました。でも、海の音だけは聞いたことがありません。そこで、セイルボートに乗って海へ出かけることにしました。マフィンにはどんな海の音を聞いたのでしょうか？ さあ、好奇心あふれるマフィンと一緒に、海の音を聞いてみましょう。

絵本・どこへいった？

マーガレット・ワイズ・ブラウン文 パーバラ・クーニー絵 内田莉莎子訳 童話館出版

「どこへ いった？」とくり返す言葉が、リズムカルで楽しい絵本です。
ねこはきよろきよろ、ぶらぶら。りすはぐるぐる。おどった。他にもたくさん どこへいった？
黒と赤、そして白の三色の絵が豊かな表情を見せてくれます。とてもかわいらしい小さな絵本です。

絵本・エミールくんがんばる

トミー・ウンゲラー作 今江祥智訳 文化出版局

ある日、サメに襲われたサモファ船長を助けたタコのエミールは、そのお礼として、船長と一緒に暮らすことになりました。楽器を演奏したり、海水浴の見張り番をしたり、密輸船をつかまえたりと大活躍のエミールでしたが……。
わかりやすい文章と簡略化された絵の楽しい絵本です。



絵本・ひとまねこざると きいろいぼうし

H・A・レイ文・絵 光吉夏弥訳 岩波書店

アフリカに住んでいた子ザルのジョージは、知りたがり屋で人真似上手。ある日、黄色い帽子のおじさんに連れられて、大きな町にやってきました。それから、さあ大変！ 早速ジョージのいたずらが始まって……。
好奇心いっぱいのジョージが大活躍する、楽しい絵本です。
また、ジョージの大冒険は、まだまだ続きがあります。続刊もご一緒にどうぞ。

絵本・せかいのひとびと

ピーター・スピア文・絵 松川真弓訳 評論社

「いま地球にはどのくらい人がいるか知っている？」地球にはたくさんの国があって、大勢の人が住んでいます。それぞれみんな違って、でもちょっと同じところがあって……。そんなことを教えてくれる絵本です。

「みんながみんなそれぞれこんなにちがっているってすてきでしょ？」

絵本・もじゃもじゃペーター

ハインリヒ・ホフマン作 佐々木田鶴子訳 ほるぷ出版

両手の爪は伸び放題、髪もモジャモジャ……だから「もじゃもじゃペーター！」

この本には、そんな子どもたちばかりが出てきます。火遊びしたパウリンヒェンも、スープを飲まなかったカスパーも……

ちょっと怖いような、子どもの本質を考えさせられるような、不思議な魅力のある絵本です。

絵本・じごくのそうべえ

たじまゆきひこ作 桂米朝上方落語より 童心社

「とざい とうざい。」軽業師のそうべえは、綱渡りの最中に足を踏み外して死んでしまった！

途中で一緒になった医者、歯ぬき師、山伏の3人と地獄へ連れていかれたそうべえ……。でも、みんなで力を合わせれば、釜ゆでや針の山もへっちゃらです！

上方落語のリズミカルで軽妙な語りを生かした文と、地獄の鬼や風景を大胆に描いた絵が、みごとに調和した楽しい一冊です！



絵本・うらしまたろう

時田史郎再話 秋野不矩画 福音館書店

「むかしむかし うらしまが たすけたカメにつれられて～」と、歌は歌えるのですが、お話をきちんと読んだりしたことはない、という人も多いのではないのでしょうか。

この本は、お話の持つ叙情的な美しさや、昔話らしい飾りのない簡潔さが、とてもよく表現されています。

ぜひ、日本昔話らしいこの絵本を、お子さんと一緒にお楽しみください。

絵本・うさぎさん

てつだってほしいの

シャーロット・ソロトウ文 モーリス・センダック絵

こだまともこ訳 富山房

おかあさんにプレゼントをしたい女の子は、うさぎさんに手伝ってもらうことにしました。女の子とうさぎさんは、何がいいか一緒にさがしますが、なかなか見つかりません。

お話はむずかしくはありませんが、このうさぎさん、かわいらしいというよりは何か大人っぽい雰囲気のおもしろいうさぎ……。

いつも読者を楽しませてくれるセンダックの不思議な美しい世界を持った絵本です。

おはなし会のお知らせ

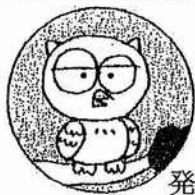
“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。

ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

9月19日(土)、10月17日(土)
午後3:00~3:30
水戸市立西部図書館
お話し会のへや





みみずく通信

No.40

2009.11.21

発行：すばなしの会みみずく <http://www.h4.dion.ne.jp/~mimizuku/>

☆ まだまだ秋、読書はいかが？

だいぶ秋も深まってきました。もう冬？ というくらい寒い日があったと思えば、まだまだ小春日和の日もあつたり……。

今回は、まだまだ秋を楽しんでいただくための本を集めてみました。ふんわりホットケーキに落葉拾い、実りの秋とさまざまな秋をご堪能ください。科学絵本も加えてみましたので、秋の夜長、お子さまと一緒に、お楽しみください。

☆ ☆ まだまだ、秋！ ☆ ☆

絵本・しろくまちゃんのほっとけーき

若山産作. こぐま社 (こぐまちゃんえほん)

しろくまちゃんがおかあさんと一緒にホットケーキを作って、こぐまちゃんにごちそうします。ちょっと失敗してしまいますけれど、それでも一生懸命自分で作ろうとする姿に、思わず「がんばって！」と声をかけたくなくなってしまいそうです。フライパンの中でホットケーキが焼ける過程も楽しめる絵本ですよ。ホットケーキがもっと好きになるような心も暖かくなる1冊です。

絵本・くんちゃんはおおいそがし

ドロシー・マリノ作. 間崎ルリ子訳. ペンギン社

ある朝、こぐまのくんちゃんは目を覚ますと、何をしよう？ と思います。お母さんのお手伝いをして、ごはんを食べてしまうと、もうすることがありません。そこで、外へ出ていったくんちゃんは……。あっさりした線画と、簡潔な文章で、幼い子どもの心をえがきだした楽しい絵本です。

絵本・こしおれすずめ

瀬田貞二再話. 瀬川康男画. 福音館書店

おばあさんが羽を折られたすずめを助けてやると、すずめはお礼にひょうたんの種を持ってきます。植えてみると、お米がいっぱい入った実がなり、おばあさんの家は栄えます。これを聞いた隣のおばあさんがすずめに石をぶつけて怪我をさせ、それを助けて、同じように種をもらいますが……。勢いのある線画の楽しい昔話絵本です。

科学絵本・どんぐり

こうやすすむ作. 福音館書店 (かがくのとも傑作集)

秋、どんぐりをえぞりすなどの動物たちが運んでいきます。巣穴に貯えたり、浅い所に埋めたり…。冬の間食べるためです。浅く埋められ、食べられずに残ったものは、春になって芽を出します。この本は、その様子を、簡略化された絵で分かりやすく説明してくれます。小さい子向きです。



科学読物・森はだれがつくったのだろう？

ジャスパソン文. エックート絵. 河合雅雄訳. 童話館

森がどのように成長していくか、考えたことがありますか？ この本は、マサチューセッツ州の広葉樹林を例に、森の姿の移り変わりを説明したものです。畑だった所が200年かけてすばらしい森へと成長していく様子を、専門用語も交えた巧みな文章と、精緻な絵で描きだしています。



☆ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

12月19日(土), 1月16日(土)
午後3:00~3:30
西部図書館 お話し会のへや



みみずく通信

No.41
2009.12.19

発行：すばなしの会みみずく <http://www.h4.dion.ne.jp/~mimizuku/>

☆ 今年もあと少し

今年一年もあと少しになってきました。

町にはイルミネーションが輝き、人びとが急ぎ足で行き交っていきます。毎年のことながら、何かと気ぜわしかったり、わくわくとしたり、楽しい季節でもあります。

さて、そんな季節の締めくりに、クリスマスの楽しい絵本はいかがでしょう？ 今回は、少し大きめのお子様たちでも楽しめる本もご用意しました。ご一緒にお楽しみください。

来年の干支の「寅」の本もご案内しています。併せてお楽しみください。



絵本・クリスマスってなあに

ディック・フルーノ作、舟崎靖子訳、講談社

天使がキリストの誕生を伝えます。星が輝いて、羊飼いを、三人の学者をキリストのもとへと導きます。この日を祝うのが“クリスマス”です。

この本は、キリストが生まれた夜のお話を、幼い子にも分かりやすい簡潔な文章と、単純で原色に近い色彩の絵で描いた絵本です。

絵本・クリスマスまであと九日

～セシのポサダの日～

マリイ・ホール・エッツ&アウロラ・ラバステイタ作、

マリイ・ホール・エッツ画、田辺五十鈴訳、富山房

今年のクリスマス、セシは初めて“ポサダ”という特別のパーティをしてもらえることになりました。ポサダでは、ピニャタに果物やキャンディを詰めて庭につるし、みんなに割ってもらわなくてはなりません。けれども、セシは、自分が選んだ美しい星の形のピニャタを割られたくなくて……。

クリスマスを待つ子どものわくわくする気持ちを描いた楽しい絵本です。珍しいメキシコのクリスマスをどうぞ。

絵本・おもいででのクリスマスツリー

グローリア・ヒューストン文、バーバラ・クーニー絵、

吉田新一訳、ほるぷ出版

ルーシーは、アパラチア山脈の奥の小さな村に住んでいました。この村では、教会に飾るツリーを、毎年、家々が交代で選びます。今年ルーシーの家の番です。そこで、ルーシーとパパはすばらしいバルサムモミをツリーに選びましたが……。

古くからの慣わしを伝える、小さな村のクリスマスのお話です。

絵本・サンタさんからきたてがみ

たんのゆきこ作、垂石眞子絵、福音館書店

(こどものとも傑作集)

クリスマスの前の日、ネズミの郵便屋さんのはりきって外に飛び出しました。今日は、配達するものがたくさんあるからです。ところが、すべて転んで、手紙をばら撒いてしまいます。その上、雪に濡れて、一通だけ宛名が分かりません。サンタさんから来た手紙なのに……。かわいらしい絵で描かれた楽しい絵本です。



絵本・クリスマスのねこヘンリー

メリー・カルホーン文、エリック・イングラハム絵、

猪熊葉子訳、リズリオ出版

クリスマスの晩、家族と教会へやってきたネコのヘンリーは、クリスマスの劇で使うヒツジのボニーと友達になります。ところが、子どもたちと一緒に家々をまわっている途中、ボニーが逃げ出し、行方不明に。さあ大変。探さなくちゃ。

とってもかしこいネコのお話です。ヘンリーのお話は他にもありますので、ご一緒にどうぞ。

読物・こねこのバベット

クレア・ターレイ・ニューベリー文・絵。
光吉夏弥訳、フッキング

ある日、ひとりでお留守番をしていたチャッティのところへ子ネコが迷い込んできます。チャッティはこの子ネコが飼いたくなりますが、子ネコはトッドさんのネコで、……。クリスマスの心温まるお話です。白地に黒の絵も伸びやかで素敵ですよ。

『クリスマスのこねこ』が名前を変えて復刊。絵本から読物へ移るころの子どもたちへ。



絵本・とらたとおおゆき

中川李枝子文、中川宗弥絵、福音館書店
(幼児絵本シリーズ)

雪がたくさん降ったら何をしよう？ とらたのお父さんがそりを作ってくれました。そこで、とらたはサンタさんからもらった鈴をそりにつけ、公園へ行くと、みんなが集まってきます。公園の山をそりですべって、飛んで、ぴゅんぴゅんぴゅん。りんりんりん。

楽しい雪の日の一日を描いた絵本です。みんなで遊ぶと楽しいですね。

絵本・だるまちゃんととらのこちゃん

加古里子作・絵、福音館書店(こどものとも傑作集)

ある日、だるまちゃんとはらのこちゃんのところへ遊びに行きます。とらのこちゃんのおうちはペンキ屋さん。そこで、ペンキで遊びたくなりますが、それはダメ。代わりに思いついたのは泥のペンキを使うことで……。

子どもの発想そのままの、わくわくする絵本です。だるまちゃんが活躍する絵本は他にもあります。併せてどうぞ。



詩の本・マローンおばさん

エリナー・ファージョン詩、アーディゾーニ絵。
阿部公子・茨木啓子訳、こくま社

「マローンおばさん 森のそばで ひとり貧しく くらしていた。」そこへ、スズメ、ネコ、キツネ、ロバ、クマがやってきて……。マローンおばさんの、慈愛に満ちた、美しい心の世界を、静かに美しく歌い上げたファージョンの詩の世界に、アーディゾーニが美しい挿絵をつけました。

聖なる夜に、ひとり静かに読んでみては。

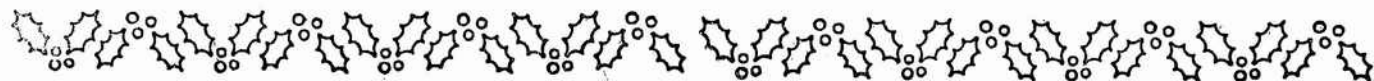
絵本・ピエールとライオン

～ためになるおはなし

モーリス・センダック作、神宮輝夫訳、富山房

あまのじゃくのピエールは何を聞いても「ぼく、しらない！」あきれたお父さんとお母さんは、ピエールをほったらかして、二人で町へ出かけてしまいます。そこへ、はらぺこライオンがやってきて、「死にたいかね」。でも、やっぱり返事は「ぼく、しらない」

始まりのうたと五つの巻からなる絵本です。最後にととてもためになる言葉が出てきます。



★ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

次回は
時間
場所

1月16日(土)、2月20日(土)
午後3:00~3:30
西部図書館 お話しのへや



☆ 春は名のみ…

今年も立春を過ぎました。

いくら暦の上では春といっても、歌ではないですが、まだまだ寒くて、窓の外やテレビの中は雪景色ばかりですね。

そこで、今回は、雪の本を集めてみました。あんな雪、こんな雪、いろいろありますが、子どもたちと楽しむ雪が一番楽しいかもしれませんよ。



雪、雪、雪！



絵本・ゆき

ジョン・バーニンガム作、谷川俊太郎訳、富山房

ある雪の降った日、“ぼく”はおかあさんと外に出ます。雪だるまを作ったり、ソリに乗ったり。

おかあさんと遊んだ雪の日の一日を、線画に淡い色彩の絵と、簡潔な文章で綴った絵本。親子で遊ぶ楽しさを教えてください。

幼い子に。

絵本・ゆきがやんだら

酒井駒子作、学研マーケティング

朝起きたら、雪がいっぱい降っていて、園がお休みに。ママは外に出ちゃだめって言うけど、“ぼく”はこっそりベランダに出て、雪のおだんごを作る。雪の降る外は寒くて、静かで、「ぼくとママしか居ないみたい」

雪の降った日の一日を、ゆっくり、静かに描き出した絵本。暖かな気持ちにしてくれます。

絵本・ぼとん ぼとんは なんのおと

神沢利子作、平山英三絵、福音館書店(こどものとも傑作集)

冬ごもりの穴の中、生まれたばかりのクマの子は、外の音をかあさんグマに尋ねます。「かーん かーんって おとが するよ。かーん かーんって なんの おと？」

布目を生かした優しい色彩の絵と、心暖まる会話で、寒さの厳しい冬と、春を待つ親子の心を描いています。

絵本・てぶくろがいっぱい

フローレンス・スロポドキン文、ルイス・スロポドキン絵、三原泉訳、偕成社

ネッドとドニーはふたごの男の子。ある日、ドニーが手袋をしようとする片方ありません。なくしたのです。そのことを知った近所の人たちが次々と手袋を届けてくれて……。

淡い色彩に線画の楽しい絵本。

いっぱい集まった手袋に、ネッドはとてもいいことを思いつきますよ。



科学読物・雪の結晶ノート

マーク・カッシーノ、ジョン・ネルソン作、千葉茂樹訳、あすなろ書房

はじまりはある冬の日。高いところにある寒い雲の中で雪の物語が始まります。雲の中にある小さな「ちり」が芯となり、水蒸気がくっついて雪の結晶が出来上がります。

いろいろな形の雪の結晶。そのでき方、特徴や観察方法を教えてください。

雪の降った日、お子さまと一緒に観察してみてください。

☆ おはなし会のお知らせ

“すばなしの会みみずく”では、すばなしと絵本の読み聞かせを、毎月第3土曜日に行っています。ぜひ、楽しいおはなしを聞きに来てください！

今回は
時間
場所

3月20日(土)、4月17日(土)
午後3:00~3:30
西部図書館 お話し会のへや